

「卒業論文要旨」の作成と提出について

日本語・日本文化学類 カリキュラム委員会

提出した原稿が、そのまま要旨集として印刷・製本されます。したがって、かならず以下の指定されたフォームに沿って、作成してください。

【卒業論文要旨の体裁】

1. 分量は A4 用紙 2 ページ以内とし、それを A4 用紙 1 枚に両面印刷して提出すること。
表面と裏面で上下の向きが同じになるよう印刷すること。
2. 原則として用紙を縦長に使用し、横書きとする。上下左右に 30mm の余白を取ること。
3. 論文題目は、卒業論文題目決定報告書と同じものを記入すること。副題の追加や変更、表記や記号なども含め一切の変更を加えてはならない。
4. 「卒業論文要旨」「口頭試問」などのヘッダーや、日付、ページ数を入れないこと。
5. 冒頭部分の書式は以下のとおりとする。【作成例】を参照のこと。
 - 1 行目：論文題目（副題があれば次行に）。ゴシック 12 ポイントで中央揃え。
 - 2～4 行目：学籍番号・氏名、主指導教員名、副指導教員名。
明朝 11 ポイントで右揃え。
 - 5 行目：一行あけ
 - 6 行目以降：本文。明朝 11 ポイント。
6. 本文の書式は自由に設定してよいが、以下の項目を含めて書くこと。
 - ・ 研究目的
 - ・ 論文構成（章節の構成など。2～3 段組にしてもよい。）
 - ・ 研究内容（必要に応じて、使用した資料、研究の方法、論文で示した事例やデータの一部を提示するなど、研究の内容をできるだけ詳細に具体的に記述すること。図表を用いてもよい。節に分けて記述してもよい。）
 - ・ 結論
 - ・ 主要参考文献

【卒業論文要旨の提出方法】

1. 要旨集の印刷原稿用として、口頭試問当日（1 月 30 日（水））に 1 部を日日学類長室に提出する。
2. 口頭試問のレジュメ用として、口頭試問会場に 40 部を持参する。

表面

上下左右 30mm の余白

〇〇〇〇〇における〇〇について
—〇〇〇の観点から—

コシツク 12pt

学籍番号	氏 名
主指導教員	〇〇〇〇先生
副指導教員	〇〇〇〇先生

明朝 11pt

1. 研究目的

○○○○○○○○○○○○○○○、○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○、○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○、
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

明朝 11pt

2. 論文構成

第1章 はじめに

1-1 研究の目的と背景

1-1 研究方法

第2章 ○○の歴史

2-1 ○○○

2-2 ○○○

第3章 ○○における特徴

3-1 ○○○○

3-2 ○○○

3-4 ○○○

第4章 考察

第5章 おわりに

3. 研究の対象と調査の方法

○○○○○○○○○○○○、○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○。○○○○○○○○○○、○○○○○○○○○○○○

○○○○○。
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

表1 ○○○○

表 1 ○○○○○○

5. 結論

○○○○○○○○○○○○○○○、○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○。○○○○○○○○○○、○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

主要参考文献

○○○○ (1989) ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○ (2003) ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○ (1976) ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

ページ数はいれない

上下左右 30mm の余白